



## 2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7325 URL https://www.irrc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 勝本 竜二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO管理本部長 (氏名) 相原 尚昭 TEL (03)5840-9551  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	8,100	19.4	531	6.2	538	6.0	288	△3.1
2025年6月期第3四半期	6,786	19.8	500	39.4	507	30.4	298	33.6

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 309百万円 (0.7%) 2025年6月期第3四半期 306百万円 (37.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	35.32	34.69
2025年6月期第3四半期	36.36	36.09

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	6,031	3,877	62.9
2025年6月期	6,051	3,944	64.2

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 3,796百万円 2025年6月期 3,883百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2026年6月期	-	16.00	-		
2026年6月期（予想）				16.00	32.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年6月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,288	19.8	844	13.9	848	12.7	507	16.4	62.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規－社（社名）－、除外－社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	8,708,000株	2025年6月期	8,708,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	530,667株	2025年6月期	530,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	8,177,333株	2025年6月期3Q	8,199,231株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米国の政策動向、中東情勢、金融資本市場の変動などについては、引き続き注視していく必要があります。

当社グループが属する保険業界においては、改正保険業法が2026年6月1日に施行される予定であることを踏まえ、顧客本位の業務運営や体制整備義務の強化が一層求められる環境となっております。当社グループにおいても、法令遵守体制の強化や苦情対応の適正化、募集業務の透明性向上など、改正法への対応を重要な経営課題の一つとして位置づけ、信頼性の高いサービス提供体制の強化に取り組んでおります。

このような環境の中、当社グループは、2026年6月期を初年度とする3か年計画をスタートいたしました。更なる成長と資本効率の両立を基本方針とし、経営資源の最適配分を通じて、持続的な企業価値向上を目指しております。特に「保険クリニック事業」では、来店型保険ショップのブランド力強化を通じて、成約件数や顧客満足度のさらなる向上を目指すとともに、「ソリューション事業」においては、A Sシリーズを保険業界に特化したパーティカルSaaSとして確立すべく、プロダクト開発を加速してまいります。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は8,100百万円(前年同期比19.4%増)、営業利益531百万円(前年同期比6.2%増)、経常利益538百万円(前年同期比6.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益288百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「保険販売事業」「ソリューション事業」「システム事業」の3セグメントから、「保険クリニック事業」「F A事業」「ソリューション事業」「システム事業」の4セグメントに変更しております。このため、前第3四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 保険クリニック事業

『保険クリニック』の店舗数は、新規出店や2025年7月及び2025年12月に実施した事業譲受などの影響により前連結会計年度末に比べ直営店が19店舗増加の106店舗、F C店が4店舗増加の200店舗(合計306店舗)となりました。

当第3四半期連結累計期間も、『保険クリニック』のアンバサダーとして、藤岡ファミリーを継続起用し、顧客層をターゲット化した効率的なW e b広告やS N S施策などを継続して実施いたしました。直営店部門においては、店頭での集客施策の効果もあり、W e b及び店舗での来店予約数が増加し、来店数は前年同期比29.8%増の29,443件と好調に推移いたしました。さらに、成約件数についても、好調な来店数の増加に加え、店舗数の増加や一時払い終身保険や変額保険等の特定商品の販売が引き続き堅調に推移したことから、前年同期比17.6%増の16,678件となりました。

F C部門は、F C加盟登録企業が純減1社の106社となりましたが、W e bからの送客によるF Cとの共同募集手数料は前年同期を上回る水準で推移いたしました。今後も、W e b送客のさらなる強化を継続するとともに、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り込みを行ってまいります。

費用面では、店舗数の増加に伴う人件費及び地代家賃の増加に加え、来店数増加に向けマーケティング活動を強化したことなどにより、前年同期比22.3%増となりました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は4,239百万円(前年同期比20.1%増)、セグメント利益は645百万円(同9.0%増)となりました。

#### ② F A事業

F A事業においては、子会社である株式会社ライフアシストにおいて、前期までに新規採用の強化を図った結果などから、好調に推移いたしました。また、当社のF A部門も、当初の計画を上回り堅調に推移しており、売上高及び営業利益は前年同期を上回る結果となりました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,664百万円(前年同期比27.8%増)、セグメント利益は54百万円(前年同期は28百万円の損失)となりました。

#### ③ ソリューション事業

A Sシリーズのユーザーのうち、代理店・金融機関向けは2025年6月に生成A Iを活用し各保険会社の約款・取

扱規定等を集約した「AS FiNDER (エーエス ファインダー)」をリリースするなどの影響で前第3四半期連結累計期間末に比べ0.7%増加の7,124IDと増加し、MR Rも増加いたしました。一方で、保険会社向けのMR Rは、前第4四半期連結会計期間に大手取引先1社との契約が解除となった影響等により、前年同期に比べ5.7%減少となりました。MR Rを継続的に増加させ、保険業界に特化したパーティカルSaaSとして確立すべく、引き続きASシリーズの開発を推進してまいります。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,034百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は253百万円(同25.1%減)となりました。

(注) MR Rとは、Monthly Recurring Revenueの略称で、毎月のサブスクリプション売上などの継続性の高い収益のことです。

#### ④ システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、『スマートOCR』に加え、電子帳簿保存クラウドサービス『DenHo』やエンタープライズサーチ『brox』などのAIを活用したプロダクトサービスの拡充を図っております。それらプロダクトサービスのライセンス収入や保守・運用によるストック収入が着実に増加いたしました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,510百万円(前年同期比18.7%増)、セグメント利益は140百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

(注) 『スマートOCR』とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

(注) 『DenHo』とは、紙文書をスキャン、またはスマホで撮影しアップロードすると、AIが文書の文字を認識・データ化して保存、文書内のキーワードで検索・閲覧できる電子帳簿保存法に対応したクラウドサービスです。

(注) 『brox』とは、紙文書をAI-OCRでテキストデータ化し、PDFや画像データに加えExcel・Word・PowerPoint等のOffice系ドキュメントも横断的に全文検索ができるエンタープライズサーチです。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,196百万円となり、前連結会計年度末に比べ633百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が639百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ613百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が411百万円、保証金が129百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加した一方で、未払法人税等が134百万円、契約負債が258百万円減少したことによるものであります。固定負債は86百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金の支払い等により利益剰余金が87百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.9%(前連結会計年度末は64.2%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年8月14日の「2025年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,222,780	1,582,941
売掛金及び契約資産	1,232,005	1,345,981
その他	378,641	271,014
貸倒引当金	△3,634	△3,721
流動資産合計	3,829,792	3,196,215
固定資産		
有形固定資産	320,158	399,751
無形固定資産		
のれん	124,910	309,208
ソフトウェア	741,964	734,576
ソフトウェア仮勘定	1,650	47,586
顧客関連資産	351,388	540,169
その他	679	679
無形固定資産合計	1,220,593	1,632,220
投資その他の資産		
投資有価証券	43,481	33,581
保証金	455,626	585,014
繰延税金資産	64,502	60,632
その他	166,030	172,294
貸倒引当金	△48,400	△48,400
投資その他の資産合計	681,241	803,122
固定資産合計	2,221,993	2,835,094
資産合計	6,051,786	6,031,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	81,424	94,191
短期借入金	-	500,000
1年内返済予定の長期借入金	16,000	24,000
未払金	528,162	456,991
未払費用	101,997	93,842
未払法人税等	199,331	65,006
契約負債	816,700	558,492
賞与引当金	69,416	60,729
役員賞与引当金	21,108	-
その他	225,579	213,952
流動負債合計	2,059,721	2,067,206
固定負債		
長期借入金	-	14,000
繰延税金負債	12,908	38,054
その他	34,503	34,503
固定負債合計	47,411	86,557
負債合計	2,107,132	2,153,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,354,780	1,354,780
資本剰余金	1,302,859	1,302,859
利益剰余金	1,615,901	1,528,567
自己株式	△390,173	△390,173
株主資本合計	3,883,368	3,796,034
新株予約権	15	15
非支配株主持分	61,270	81,496
純資産合計	3,944,653	3,877,546
負債純資産合計	6,051,786	6,031,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,786,281	8,100,631
売上原価	1,498,568	1,932,209
売上総利益	5,287,713	6,168,421
販売費及び一般管理費	4,787,434	5,637,056
営業利益	500,278	531,365
営業外収益		
受取利息	1,015	4,360
受取賃貸料	18,655	17,407
その他	4,877	4,164
営業外収益合計	24,548	25,932
営業外費用		
支払利息	498	3,207
賃貸収入原価	16,256	15,364
その他	213	292
営業外費用合計	16,968	18,865
経常利益	507,858	538,432
特別利益		
固定資産売却益	3,808	-
受取和解金	11,318	-
特別利益合計	15,126	-
特別損失		
固定資産除却損	3,713	1,604
情報セキュリティ対策費	10,289	-
投資有価証券評価損	-	9,899
賃貸借契約解約損	-	13,702
特別損失合計	14,003	25,207
税金等調整前四半期純利益	508,981	513,224
法人税、住民税及び事業税	198,763	175,158
法人税等調整額	3,348	29,016
法人税等合計	202,111	204,174
四半期純利益	306,869	309,050
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,710	20,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	298,159	288,823

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	306,869	309,050
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	306,869	309,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,159	288,823
非支配株主に係る四半期包括利益	8,710	20,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	241,550千円	294,959千円
のれんの償却額	14,122	23,825

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険クリ ニック事業	F A 事業	ソリューシ ョン事業	システム事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,529,405	1,302,570	1,000,576	953,729	6,786,281	-	6,786,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	6,563	318,810	325,373	△325,373	-
計	3,529,405	1,302,570	1,007,140	1,272,539	7,111,655	△325,373	6,786,281
セグメント利益又は損失(△)	592,189	△28,770	338,008	130,698	1,032,126	△531,847	500,278

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△531,847千円には、セグメント間取引消去△7,002千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△524,845千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険クリ ニック事業	F A 事業	ソリューシ ョン事業	システム事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,239,204	1,664,507	1,028,342	1,168,577	8,100,631	-	8,100,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	6,563	342,297	348,861	△348,861	-
計	4,239,204	1,664,507	1,034,906	1,510,875	8,449,493	△348,861	8,100,631
セグメント利益又は損失(△)	645,672	54,268	253,210	140,339	1,093,491	△562,126	531,365

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△562,126千円には、セグメント間取引消去△5,937千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△556,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、事業ポートフォリオに基づく各事業領域の収益性、投資効率を明確にするため、2026年6月期より報告セグメントを、従来の「保険販売事業」「ソリューション事業」「システム事業」の3区分から、「保険クリニック事業」「F A 事業」「ソリューション事業」「システム事業」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。